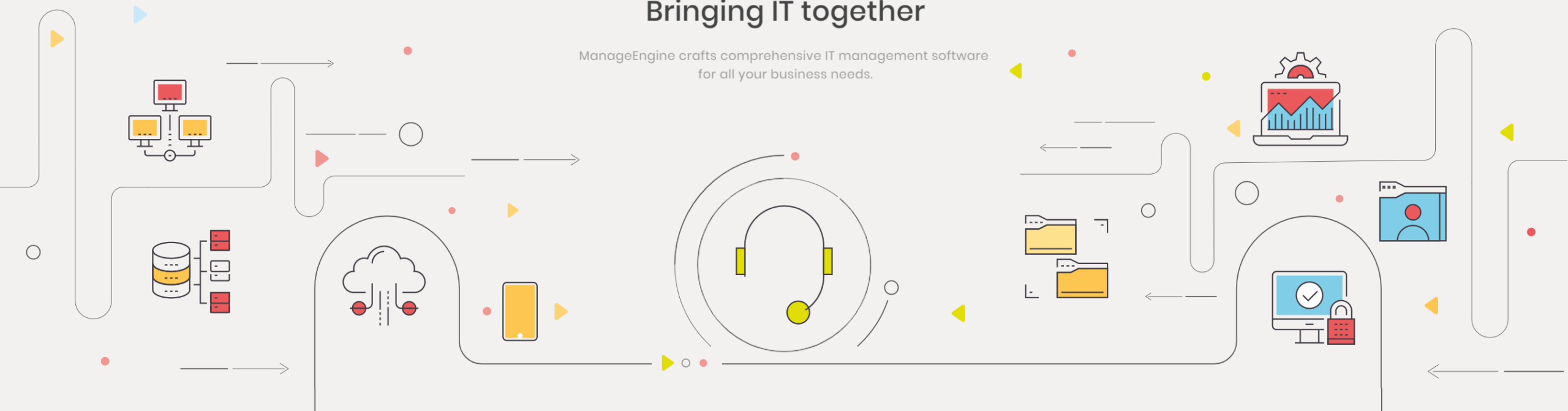


## Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software for all your business needs.



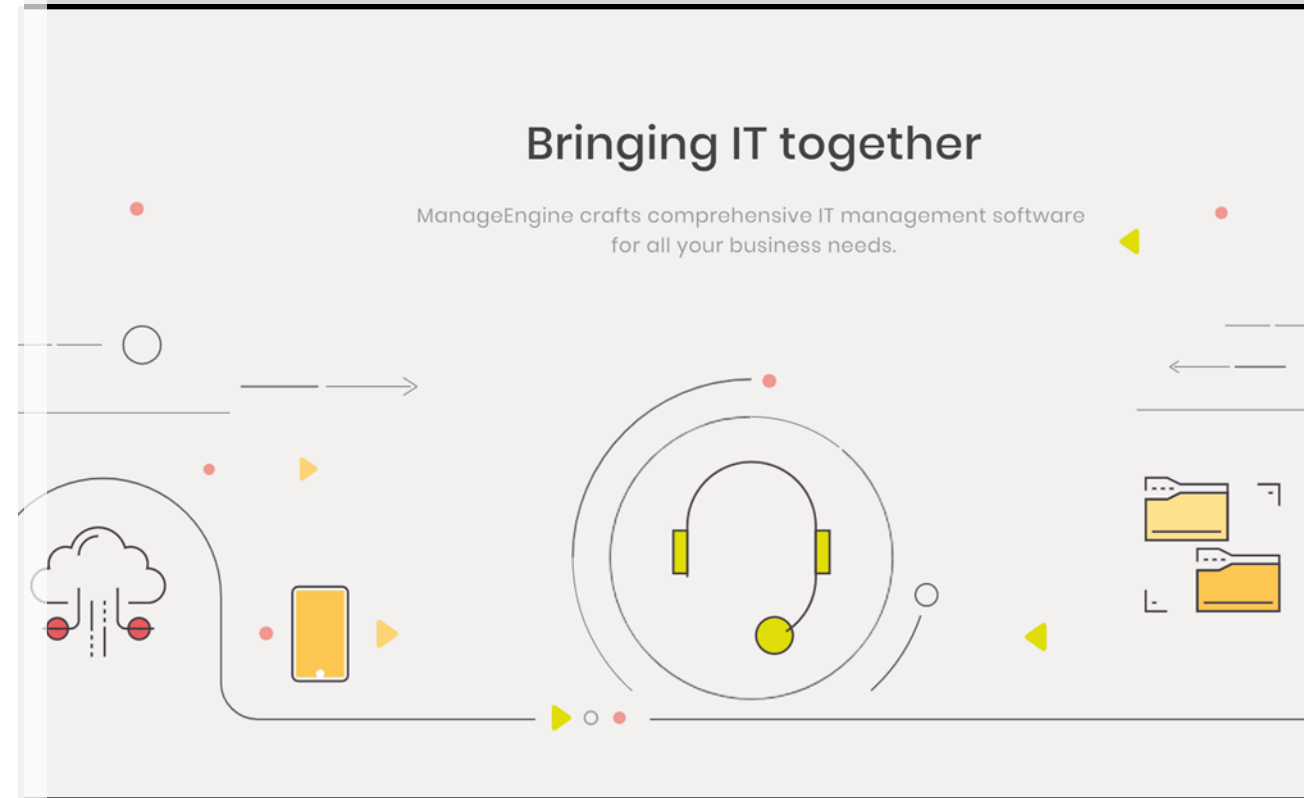
ManageEngine OpManager & OpManager Plus

# Liteデバイスオプションリリースに関する補足資料

ゾーホージャパン株式会社

# 目次

- Liteデバイスオプションについて
- お客様への影響
- お客様の対応方法
- FAQ



# Liteデバイスオプションについて

Liteデバイスオプションは、監視機能を可用性の監視（死活監視）などに限定する分、デバイス単価を本体ライセンスに含まれるデバイスより安価に設定したオプションです。管理者は、本体ライセンスに含まれるデバイスライセンスを消費することなく、デバイスの可用性を監視できるようになり、監視範囲を拡大しながら、費用対効果の高い運用監視を実現できます。

- **Liteデバイスオプションでライセンスを消費する監視対象**

- 可用性（死活）監視のみのデバイス
- URL
- アクセスポイント
- ネットワークパス分析
- WAN IP

- **Liteデバイスオプションライセンス**

- 50 Liteデバイス
- 100 Liteデバイス
- 250 Liteデバイス
- 500 Liteデバイス

※本体ライセンスに含まれるデバイスより大きい数のLiteデバイスオプションは購入できません。

※本体ライセンスに含まれるデバイスとLiteデバイスの合計が500を超える場合は、本体ライセンス含めEnterprise Editionでの購入となります。

## OpManagerをご利用中のお客様への影響

Liteデバイスオプションのリリースに伴い、**OpManagerの「URL監視オプション」「アクセスポイントオプション」の販売が停止**となるほか、これまで**標準機能としていた“ネットワークパス分析”が新たに本オプションの課金対象**となります。

当該機能を利用されているお客様は、Liteデバイスオプションの対応ビルド（ビルド12.8.590）にアップグレード後、Liteデバイスオプション（有償）による契約に切り替える必要があります。

本対応は、**2022年3月25日のライセンス体系変更に伴い、URL監視およびアクセスポイントを無制限で対応していたお客様、および無償の範囲でURL監視を使用されていたお客様にも適用いたします。**

ビルド12.8.545まで		ビルド12.8.590以降	
可用性（死活）のみの監視	標準機能	Liteデバイス  ※URL監視/アクセスポイント監視オプションは 3/25より新規販売を停止	有償オプション
URL監視	有償オプション (5つまで無償)		
アクセスポイント監視	有償オプション		
ネットワークパス分析	標準機能		
WAN IP	非対応		

# OpManager Plusをご利用中のお客様への影響

Liteデバイスオプションのリリースに伴う影響は特にございません。ネットワークバンドルのカウント対象がアクセスポイントからLiteデバイスに変更となります。URLはサーバー・アプリケーションバンドルから変更ありません。

- それぞれのバンドルに含まれる監視内容は以下の通りです。

ネットワークバンドル	サーバー・アプリケーションバンドル	ストレージバンドル
スイッチ・ルーター・インターフェース・IPアドレス等の監視	サーバー・アプリケーション・Webサイト・サービス等の監視	ストレージデバイスの監視
ネットワークパフォーマンス監視	サーバー監視	ディスク監視
帯域・トラフィック解析	ミドルウェア・アプリケーション監視	FCスイッチ監視
<b>Liteデバイス監視</b>	外形監視	テープライブラリ監視
IPアドレス管理	Webサービスパフォーマンス監視	
スイッチポート管理		

アクセスポイントからの変更

従来通り、URLはこちらに含まれます。

## 【参考：OpManager Plus】ネットワークバンドル

ネットワークバンドルは、スイッチ・ルーター・インターフェース等の監視とトラフィック解析、およびコンフィグ・IPアドレス・スイッチポート管理などを含むネットワーク全般の監視に対応するバンドルです。

ネットワークバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

バンドルの デバイス数	NW機器監視 コンフィグ管理	フロー解析	Lite デバイス 監視	IPアドレス 管理	スイッチポート 管理
n デバイス	n	n	n×2	n×10	n×10

↑ アクセスポイントからの変更

- ※ ネットワークバンドルで監視するネットワーク機器監視でコンフィグ管理機能も利用できます。  
1つのデバイスに対して機器の監視とコンフィグ管理の両方を行っても、消費するライセンスは1デバイス分となります。
- ※ ネットワークバンドル内の「~~アクセスポイント監視~~」は、OpManagerの「~~アクセスポイントオプション~~」に相当する機能です。[NetFlow AnalyzerのWLC監視](#)はフローインターフェースにカウントされ、アクセスポイント1台に対して1インターフェース分のライセンスを消費します。
- ※ ネットワークバンドルでサーバーの監視をすることもできます。

## 【参考：OpManager Plus】サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドル (SAM: Server and Applications Management)

サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドルは、サーバー・アプリケーション・Webサイト・サービス等の監視に対応するバンドルです。

SAMバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

従来通り、URL  
はこちらに含ま  
れます。

バンドルのデバイス数	サーバー監視	アプリケーション監視	インターネットサービス監視
<b>n</b> デバイス	<b>n</b>	<b>n</b>	<b>n</b>

※ インターネットサービスには、WebページのURL監視やクラウドサービスの監視等が含まれます。

※ SAMバンドルの利用には、APMプラグインのインストールが必要です。

※ 一部のアプリケーション監視機能のご利用にはオプションの購入が必要です。オプション一覧をご確認ください。

## OpManagerをご利用中のお客様の対応①

お客様がLiteデバイス対象の監視を実施しており、Liteデバイスオプションの対応ビルド（ビルド12.8.590以降）にアップグレードした場合、次の契約更新より、Liteデバイスオプションによる契約に切り替える必要があります。

契約更新タイミング（お見積り依頼時）において、ビルド番号の確認をお願いいたします。

### **【ビルド番号12.8.545未満】**

従来通りのライセンス体系で更新

## OpManagerをご利用中のお客様の対応②

### 【ビルド番号12.8.590以上】

1. Liteデバイスの対象数を確認  
確認方法は[こちら](#)
2. Liteデバイスの有無、その必要性を確認の上、不要な対象は削除する
3. 画面のスクリーンショットを販売代理店またはゾーホージャパンに提出
4. Liteデバイスがある場合：  
本体ライセンス + Liteデバイスオプション（必要な分） + その他オプション（ある場合）で更新（Liteデバイス数の利用状況により、本体ライセンスが変更となる可能性があります）
5. Liteデバイスがない場合：  
本体ライセンス + その他オプション（ある場合）で更新

※通常ライセンスをご利用のお客様には、納品時にライセンスを再発行&送付いたします。再発行されたライセンスの製品への再適用をお願いいたします。

## OpManagerをご利用中のお客様の対応③（契約変更の例）

### ● アクセスポイントオプション保有の場合

- 例1) 500アクセスポイントオプション（年間ライセンス）の場合  
旧：500 アクセスポイント オプション 年間ライセンス 491,000円  
新：500 Liteデバイス監視 オプション 年間ライセンス 348,000円
- 例2) 無制限アクセスポイント保有（2022年3月24日以前に購入したお客様）  
旧：オプションなし  
新：利用Liteデバイス数に応じて料金が発生します

### ● URLオプション保有の場合

- 例3) 50 URL（通常ライセンス）の場合  
旧：50 URL監視 オプション 年間保守サポート 42,000円  
新：50 Liteデバイス監視 オプション 年間保守サポート 52,000円
- 例4) 無制限URL保有（2022年3月24日以前に購入したお客様）  
旧：オプションなし  
新：利用Liteデバイス数に応じて料金が発生します
- 例5) 5 URL（標準ライセンス）保有（2022年3月25日以降に購入したお客様）  
旧：オプションなし  
新：利用Liteデバイス数に応じて料金が発生します

## OpManagerをご利用中のお客様の対応④（契約変更の例）

- **本体デバイスの数を減らしたい場合**  
「トレードダウン」にて対応可
- **既に利用している「URL監視」、「アクセスポイント監視」、「ネットワークパス分析」を継続利用したい場合**
  - 年間ライセンス： Liteデバイス監視オプション 年間ライセンスを購入
  - 通常ライセンス： Liteデバイス監視オプション 年間保守サポートを購入
- **上記Liteデバイス対応の契約後、新たにLiteデバイスを購入したい場合**  
「オプション追加」にて対応可
- **既に利用しているLiteデバイス数より増やしたい場合**  
「Liteデバイスのトレードアップ」にて対応可

## OpManager Plusをご利用中のお客様の対応

従来通りの対応から変更ございません。

※ただし、利用ビルドに応じて発行するライセンスが異なりますので、ライセンス発行時（年間ライセンス更新時、トレードアップ時など）には、利用ビルドをご確認の上、「ユーザー登録」時に利用ビルドの登録をお願いいたします。

# FAQ

- **OpManagerでURLやアクセスポイント監視を行っています。Lite デバイスオプションの対応ビルドにアップグレード後、利用できなくなるのでしょうか？**

ご契約頂いてるお客様においては、12.8.590以降にアップグレード中に以下の計算式に則り、一定数の Liteデバイスオプションが付与されるため、利用できなくなることはありません。但し、アップグレード後の次の契約更新時、Lite デバイス数に応じたオプションの保守または年間ライセンスの契約が必要となります。

【計算式】 アクセスポイントオプション数 + URLオプション数（無制限の場合は100） +10（ネットワークパス無料分）

【参考例】 200アクセスポイント / 300URL / 10ネットワークパス利用時は、510 Liteデバイスが付与されます。

- **Liteデバイスオプションは、どのEditionが対象となりますか？**

OpManager / OpManager Plusともに、Professional Edition および Enterprise Editionが対象となります。

- **Liteデバイスを通常のデバイス（本体ライセンスに含まれるデバイス）に変更できますか？ できる場合、その影響は？**

Liteデバイスを通常のデバイスに変更することができます。その場合、Liteデバイスオプションの対象からは外れることとなりますが、本体ライセンスに含まれるデバイスとしてカウントされます。

- **通常のデバイス（本体ライセンスに含まれるデバイス）を Liteデバイスに変更できますか？ できる場合、その影響は？**

通常のデバイスを Liteデバイスに変更することができます。その場合、可用性（死活）監視以外のパフォーマンス監視が無効となります。本体ライセンスに含まれるデバイスの対象からは外れることとなりますが、Liteデバイスオプションとしてカウントされます。



## 製品提供元

ゾーホージャパン株式会社



神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号  
みなとみらいセンタービル13階

045-319-4612 (ManageEngine 営業担当)

<https://www.manageengine.jp/>

[jp-mesales@zohocorp.com](mailto:jp-mesales@zohocorp.com)